



# 企業の防災対策・事業継続強化

企業の事業活動は、主に4つの経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）に支えられています。しかし、大規模地震が発生した場合、何らかの制約を受ける可能性が極めて高くなります。そのため、災害発生時にその経営資源を守り、事業活動を継続・復旧させることを目的とした事前の災害対策は非常に重要です。

## ◆防災対策～主にヒト・モノを守る行動～

防災の取り組みは、生命の安全確保（ヒト）と物的被害（モノ）の軽減を目的としています。

☞ 備えが出来ているか、労使で定期的に確認しましょう！

事業所の耐震化	オフィス家具・機器の転倒防止	二次災害防止 (出火/落下/飛散/浸水)	食料・医薬品・トイレ等の備蓄
教育・訓練の実施	役割・体制 (指揮命令、被害確認)	安否確認	人命の安全確保 (避難経路/救命救助)

## ◆事業継続～事業継続計画（BCP）の策定～

不測の事態が発生しても、重要な業務を中断させない、または中断しても可能な限り短期間で復旧させるための方針、体制および手順等を示した「行動計画」のことです。

### BCP策定の重要ポイント～大規模地震の影響/想定リスクを踏まえ～

#### ①事業継続に対する基本方針を明確化

（例。「人命を最優先とする」「重要顧客に対する供給責任を果たす」など）

#### ②事業中断による影響、想定事象やそれに伴うリスクを想定

（大規模地震においては一定期間、ライフラインや交通の制約があることも踏まえる）

☞ 完璧なものを目指すのではなく、3つの要素を明確化しましょう！



事業継続経営を守る 3つの要素	1. 重要業務の選定	優先的に復旧すべき製品/サービス（観点） ・売上/利益への寄与 ・顧客の必要性 ・納期短いもの
	2. 目標復旧時間の設定	重要業務について、 ・いつ頃まで復旧すべきか ・どの程度まで許容できるか ⇒復旧までの許容時間・水準を見極める
	3. 必要リソースの確保	重要業務に必要な最低限のリソース（ヒト/モノ/カネ/情報）をどのように確保するか（復旧させるのか、代替確保するか） 事業継続には、重要情報やシステムを使用できることが不可欠（バックアップ保持、電源確保などは重要な対策）

特に、部品や素材・原料（モノ）の確保においては、1次仕入先だけでなく、その先の仕入先（サプライチェーン）も意識が必要です。☞ BCP策定は、“企業経営”と“サプライチェーン”を守る第一歩！

重大労働災害が発生した際は「重大災害発生報告書」をご提出ください。類似災害防止策の検証に役立てます。

詳しくは製造産業部門まで